

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	佐賀市立川上小学校
1 前年度 評価結果の概要	・教職員の積極的な研修への参加、また全教科・領域を対象とした校内研究の充実により、全ての職員が自らの授業改善や授業力向上に努めることができている。また、体育やICT等堪能な職員が自ら職員が気軽に参加できる研修を開催したことも、本校にとっても大きな成果となった。一方で、学年間のバランス等を考慮せず、ICTを活用した個別学習に頼りすぎた授業となっている学級もあることから、「個別最適な学び」の意義について、再度共通理解を図ることが必要である。次年度は、このような授業づくりに人権・同和教育の視点を取り入れ、授業研究を進めていきたい。 ・いじめの定義について、改めて研修を通し確認したことで教職員のいじめに対する意識も変わり、いじめや気になる児童への対応について、小さな芽の段階から適切に対応してもらっているため大事に至ることがない。こうした取組が、児童の安全・安心な学校生活につながっている。 ・コミュニティ・スクールとなり、地域との連携がこれまで以上に充実し、学校運営にも大きな効果をもたらした。日常的な学校生活においても様々な関わりを築くことができてきているため、今後も、こうした取組を継続・拡大させていきたい。

2 学校教育目標	みんなが笑顔の楽しい川上 「自分大好き 友だち大好き 川上大好き」 な児童の育成
----------	--

3 本年度の重点目標	1 生活及び学習の基礎基本の力の育成と定着～自分大好き～ 2 自尊感情の醸成～友達大好き～ 3 「川上コミュニティスクール」を基盤とした地域・家庭との連携強化～川上大好き～
------------	--

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○基礎・基本の学力定着と児童がわかる喜びを実感できる授業の工夫改善	○各学年、市販テストの平均点を上げる。 ○授業が「わかる」「楽しい」と答えた児童80%以上 ○授業改善に向け、具体的取組を実践できている教員80%以上	・隙間時間や授業開始時のデジタル教材による学習の充実 ・複数担任制による教材研究の充実 ・校内研究の時間での、具体的取り組みの進捗の共有と改善。	・	・	・	・	・	かしこい子育て部 研究主任 教務主任		
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「たてわり活動」や「異学年交流学習」について肯定的な回答をした児童80%以上 ○学級や学校に対して肯定的な回答をした児童80%以上	・全学年、授業参観で「ふれあい道徳」を実施し、家庭と連携して、道徳的価値の意義や意味などについて共有させ、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 ・あおば活動や異学年交流活動の設定の工夫 ・人権総合学習を中心に据えた人権教育やいじめ命を考える日の取組の工夫。「ほかほかの木、ほかほか放送」	・	・	・	・	・	やさしい子育て部 人権・同和教育担当 児童生徒支援員 教務主任 あおば活動主任		
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめの未然防止・早期発見・早期対応のための取組、事後対応等)について、組織的対応ができていると思う教職員90%以上	・生徒指導協議会を中心に、気になる児童やいじめについての共通理解を毎月実施。 ・定期的なアンケートの実施。 ・Q-Uテストの実施と、結果の分析・学級経営のための研修会の実施。	・	・	・	・	・	やさしい子育て部 全職員		
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」と回答をした児童生徒80%以上	・児童の作品やノート等、日々の成長や頑張りを賞賛・価値づけするコメント記入。 ・キャリアパスポートと連動させた毎学期の目標設定や自己の成長の振り返りにより、児童一人一人の自尊感情を高める。	・	・	・	・	・	各担任 教務主任 全職員 かしこい子育て部		
	○地域連携活動の充実による児童の自己肯定感とふるさと愛の向上	○地域の方との触れ合いや学習について肯定的にとらえている児童90%以上	・地域人材を活用した教育活動の充実 ・地域の方に認められる学習の場の設定 ・クラブ活動の地域展開・地域連携	・	・	・	・	・	・	各担任 教務主任	
●健康・体づくり	②「望ましい生活習慣の形成」 ○あいさつ、返事 ○礼儀正しい言葉遣い ○人、もの、場を大切にできる子	○「自分から誰にでもあいさつをしている」「名前を呼ばれたら返事をしている」「礼儀正しい言葉遣いをすることができる児童80%以上 ○く自分のことも他者のことも大切にできたと思う」児童85%以上 ○授業や行事など、集団で行う活動を大切にしている」児童80%以上	・教師の率先垂範と全職員による徹底指導 ・挨拶がよくできている児童を「ほめほめカード」により放送で紹介。 ・生活のめあてと連携し、礼儀正しい言葉遣いについて、月1回の生徒指導協議会で共通理解を図る。 ・行事等実施前には、担当(担任)が活動の意義や目的等について、全体に共通理解を図っておく。	・	・	・	・	・	生徒指導担当 教務主任 安全担当 各担任		
	○毎日歩いて登校	○自分の足で歩いて登下校している児童95%以上	・保護者への歩育の推奨とPTAへの周知	・	・	・	・	・	教頭 教務主任		
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・特定の教職員に業務が集中しないようにマネジメントを行う。 ・定時退勤日を設定する。 ・稼業日であっても、年次休暇を取得しやすいよう、休暇取得を推奨する。 ・長期休業中に7日以上連続休暇を取得できるよう、研修等の調整を行う。	・	・	・	・	・	教頭 教務主任		
	○働きやすい職場環境づくり	○「本校職員室は雰囲気がよく働きやすい」「管理職や同僚に相談しやすい」職員90%以上	・地域人材活用やICT利活用、複数担任制等による業務改善 ・職員レクの実施による横のつながり、若手メンターの設置、風通しのよい職員室、校長室	・	・	・	・	・	校長・教頭		
●特別支援教育の充実	○教職員の専門性の向上及び外部専門家・専門機関との連携	○「特別支援教育についての専門性が向上した」「特別支援学級児童や気になる児童への対応力が向上した」教職員90%以上 ○外部専門家・専門機関との連携10回以上	・全職員参加の職員研修の実施。 ・気になる児童について、毎月情報共有の場を設定。 ・関係機関との連携の充実	・	・	・	・	・	特別支援CO 各担任		
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目											
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
○人権・同和教育の充実	○自他を大切にする態度を養う。 ○互いの良さや違いを認め合い、共に生きる力を育てる。(多様性の理解)	・名前を呼ぶときに「～さん」と言っている児童80%以上 ・「自分のことが好きだと言える」児童85%以上 ・「友だちはあなたのことを認めてくれる」と回答した児童80%以上 ・校内研究において、人権・同和教育の視点を入れた授業を3回以上実施。	・道徳や学級活動において、命や友達をテーマにした題材を活用し、自尊感情や他者理解を深める。 ・人の名前を呼ぶときは「～さん」と学校で統一し、教師が率先垂範する。 ・校内研究を中心に、人権・同和教育を意識した授業づくりを行う。	・	・	・	・	・	人権・同和教育担当 児童生徒支援員 教務		
○コミュニティ・スクールの充実	○地域と協働した学校運営の充実 ・行事における連携 ・学習支援、特別活動への参画	○学校行事等における地域の方々との連携率を90%以上	・各学年、地域との協働による教育活動を実施する。 ・年間行事について、年度当初に共通理解を図る。、	・	・	・	・	・	校長、教頭、地域Co		

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志と誇りを高める教育

5 総合評価・次年度への展望	・ ・ ・
----------------	-------------